

四国官庁OPENゼミを開催

＜高松会場・松山会場で四国総合通信局の仕事を紹介＞

平成30年3月7日(水)高松サポート合同庁舎北館(高松市)、3月9日(金)四国総合通信局(松山市)において「四国官庁OPENゼミ」を開催しました。四国総合通信局の仕事に関心のある学生の皆さんを対象に、当局の具体的な業務の説明や若手職員との懇談を行いました。両会場とも3回ずつ開催し、高松会場では33名が、松山会場では39名が参加しました。

【業務説明】

四国総合通信局は総務省の地方支分部局で、四国四県における情報通信・放送・電波の行政を所管しています。

・情報通信行政

ICT/IoTを活用した地域の課題解決と地域の活性化を推進し、光ファイバー網やWi-Fi網の整備、携帯電話の高速化(例えば、スマートフォンで高精細動画もスムーズに再生)、大学・企業等研究機関での研究開発支援、医療介護の高度化・健康の増進(データを活用した離島や山間部での遠隔診療や高度なケアの実現)、各種センサーを活用した農林水産業の活性化(人手不足解消、生産性向上、収益改善による6次産業化の実現)、Wi-Fiやスマートフォンの位置情報を使った児童見守りや徘徊高齢者の所在確認等々につながっていることを説明。

・放送行政

テレビ・ラジオ局の免許やケーブルテレビの許認可を行っていることを説明。

・電波行政

航空・海上・陸上の無線局の許認可や検査を行っており、全国的な電波監視網を構築、警察・海上保安庁と共同取締りを行い、不法・違法な無線局を排除していることなど、総務省の施策や四国総合通信局の役割について説明しました。

松山会場(四国総合通信局)では、電波監視施設も一部公開し、あらゆるところで電波が利用されるIoT時代への地ならしとして電波監視行政がますます重要度を増している現状を説明。

【若手職員との懇談】

採用3年目までの若手職員が各回2名ずつ参加し、自分が受け持つ業務の内容や、一日の業務の流れ、職場の雰囲気等について説明しました。

参加者から「何に興味を持って就職しようと思ったか」との質問があり、若手職員は「幅広い仕事があると聞いた」「ICT/IoTの利活用の分野に将来性を感じたこと」「出身地が南海トラフ地震による津波の被害が想定されている場所であり、災害に対する情報通信の役割に興味をもった」と回答していました。

【お問い合わせ先】 総務部 総務課 089-936-5012



説明を聞く参加者(高松会場)



説明を聞く参加者(松山会場)



臨時災害放送局の説明(松山会場)



電波監視車両の説明(松山会場)



業務に関する新聞記事の紹介(高松会場)



電波監視施設の説明(松山会場)